



平成29年度 大学図書館職員長期研修講義

「大学と大学図書館」

東北大学理事・附属図書館長

植木 俊哉

平成29年7月3日
於・筑波大学

1. 「大学と大学図書館」——その社会的枠割

(1) 「大学」とは何か？

社会の中における「大学」の位置 づけと役割

- 「歴史的存在」としての大学と大学図書館
- 「国際的存在」としての大学と大学図書館



1. 「大学と大学図書館」——その社会的枠割

(2) 「大学図書館」とは何か？

●他の「(公共)図書館」との異同

- ・図書館の「公共性」と「大学」の役割

●「大学」における「図書館」の位置

- ・歴史的な位置づけ
- ・法的な位置づけ: その変遷



2. 「国立大学法人化」(平成16年4月)以降 の国立大学の変容

大学の何がどう変わったか？

- ・大学の法的地位、教職員の身分
- ・大学の組織構成の変化(学外意見の反映⇒経営協議会、学長選考)
- ・「教育」「研究」「社会貢献」が大学の3つのミッションに



2. 「国立大学法人化」(平成16年4月)以降 の国立大学の変容

各大学の「創意工夫」と独自の発展の可能性が拡大

⇒「変えなければならないこと」と「守り
続けなければならないこと」とを識別す
る知見が従来以上に必要となった

3. 「大学改革」の中で高まる「大学図書館」 に期待される役割

(1) 教育・学習

① 学生の学修形態の変化と発展：

Active Learningの場として

- ・ 図書館職員による教育活動への主体的
関与、教員との連携強化の必要性

② 「社会人(再)教育」の場としての期待



3. 「大学改革」の中で高まる「大学図書館」 に期待される役割

(2) 研究

- 電子ジャーナル、機関リポジトリ、オープンアクセスへの対応
- URAとの連携等
⇒ 教員の研究活動に対する新たな協力
と貢献



3. 「大学改革」の中で高まる「大学図書館」 に期待される役割

(3) 社会貢献・社会連携

大学(学生・教員)と社会・地域とをつなぐ
「窓口」としての「大学図書館」の役割



3. 「大学改革」の中で高まる「大学図書館」 に期待される役割

(4) 大学運営とマネジメント

大学の構成員—執行部・教員・学生—と
学外の社会を繋ぐ最も重要な「ハブ」とし
ての役割を担うことを目指して



4. おわりに——深化する「大学図書館」の 役割と機能

・「大学図書館」の役割の変貌

⇒「ピンチ」ではなく大きな「チャンス」と捉える

⇒図書館こそが「大学」での教育・研究・社会貢献・管理運営の「メインストリーム」に立つのだ、という気概と自覚を！

